

学生YMCA 釜ヶ崎での夜回り活動

大阪YMCA国際専門学校 英米語学科
国際ボランティアコース2年 林 有香

私たちボランティアコースの学生は、毎週水曜日の夜に、釜ヶ崎にある「いこい食堂」での夜回り活動に参加しています。具体的には、路上生活者の方々に体調を伺いながら、おにぎりやゆで卵を渡すという活動です。

ボランティアコースに入るまでは路上生活者と接する機会などなく、「ホームレスは怖い人たち」と勝手に思い込んでいました。実際夜回り活動に参加するようになったのも自発的ではなく、歴代のボランティアコースの先輩たちも行ってたからでした。今思えばそのきっかけがあったからこそ踏み込むことができたと思っています。

いこい食堂に着くとボランティアの方々と夜回りの時に渡すおにぎりを握り、ゆで卵と一緒に袋詰め作業を行います。毎回100個前後用意しますが、決して足りているわけではありません。一時

間前後で配り終わってしまいます。この活動は、一見食べ物配るだけのボランティア活動と思えるかもしれませんが、私も初めの頃はそう考えていました。初めて夜回りに参加した時も、早く配り終わることに重点を置き、路上生活者との関わりを大切にしていま

ました。その内、路上生活の方から「ありがと」、「気づいてくれたらいいな」と言ってくれたら、ほんの数秒ですが自分でも会話をし、余裕ができました。「食べ物配る側と与えられる側」から、一人の「人」としての繋がりを築けたように感じました。

ホームレスは近寄りたいたいと思う人は多いかもしれませんが、しかし、それは私たちが関わりを持とうとしないからではないのです。釜ヶ崎での夜回り活動を通して、人と人の繋がりを学んでいるように感じます。

地域に溶け込むYMCAを目指して

大阪YMCAは、地域社会での活動を積極的に展開しています。今月号では、その一端をご紹介します。



まち美化ボランティア活動

南YMCAが行っている多くの地域活動の一つに「まち美化ボランティア活動」があります。これは、大阪府がターミナルや繁華街などたばこのポイ捨てが多い場所を対象に清潔で美しいまちづくりを推進し、2000年10月から導入した「まち美化パートナー制度」に賛同したものです。月に1回南YMCAの玄関前から天王寺公園の手前までの歩道の清掃と天王寺駅北口周辺でポケットティッシュや携帯灰皿の配布を行っています。大阪サウスイズメンズクラブのメンバー、南YMCAのボランティアリーダー、スタッフ、そしてY

MC A学院高等学校の生徒も毎回ボランティア体験として参加しています。多い時には25名ぐらいの参加者があり、約1時間の清掃活動でビニール袋4枚分以上のごみを回収しています。

まち美化ボランティア活動に参加したYMCA学院高等学校の生徒の中には、「最初は恥ずかしかったけど、やっているうちにだんだん気持ちよくなってきた」と言っています。その後毎回参加するようになった生徒もいます。自分が誰かのために役に立っていると実感したよ

うです。活動としては小さなことですが、これから社会の一員となる生徒たちにとって地域のために何か役立つことをしたという体験は、かけがえの無い大きな経験となると思います。



(加志) 勉・高等学校スタッフ



ベイ&リバーサイドパーティー

10月3日・4日に、大阪の水辺エリアで「ベイ&リバーサイドパーティー」が開催されました。これは「水都大阪2009」(テーマ:川と生きる都市・大阪)との川筋から海への連携で、市民協働・官民連携による新たなまちづくりに取り組みイベントです。

土佐堀YMCAは西区実行委員の一員として、10月3日(土)のクルーズガイド22便、ウォーキングガイド、イベント会場ブース、そして川沿いアートギャラリー絵画制作の、4つのボランティア活動を行いました。

イベント当日は、前日まで続いた秋雨から一転して、太陽が眩しいほどの秋晴れ!クルーズガイドの国際学科(IHS)生、表現・コミュニケーション生、大学生リーダーを含むYMCAボランティアは、練習をした甲斐があり立派にガイドを務め



乗船客から笑顔と大きな拍手をいただきました。表コミの生徒たちが巨大なキャンバスを教室いっぴいに広げて制作したアートも、川沿いの堤防に映えて素敵でした。ウォーキングガイドやイベント会場ブースにも、多くの笑顔。ガイドの緊張を乗り越えた生徒からは、「人前でしゃべるのが苦手だったけどまた何かに挑戦できる気がしてきた」なんて嬉しい言葉もあり、心も秋晴れの楽しい1日となりました。

「ガーデニングボランティア」

この地域は堺でも一番歴史の面影が残っており、刃物作りなども行われていた町です。このような地域で、自治会のボランティアの方々が「錦西グラウンドワーク」(平成14年設立)という花の広場での活動を行いながら、地域の花のプレゼントを行っています。

ふれあいが始まったのは、昨年、センターが動き出した数ヵ月後、私が駐車場の草刈をしている際、素人の私の刈り方に意見が、同情されて、その翌日、ベテランの方々が刈り残った駐車場の草をきれいに全て刈り取ってくださったことに始まります。それが縁で、毎週日曜日にはボランティアの輪の中に入ることにになりました。また、青少年センターの前には花壇があり、四季を通していろいろな花を植え替えてもらって

世界YMCA/YWCA合同祈禱週

「いま、地球市民として生きるために」

祈禱週の初期の頃はYMCAだけで展開していましたが、1904年よりYWCAと共に祈る世界YMCA/YWCA合同祈禱週が始まりました。今年の祈禱週は11月8日(日)~14日(土)です。合同祈禱週は、毎年ひとつのテーマのもとに全世界のYMCA、YWCAに連なる人々が同じ資料を用いて、その日課にしたがい聖書からメッセージを聞き、祈りを合わせる時として定められています。世界の人々の人権を守るため、世界の平和、正義の実現のための祈りがなされます。

今年のテーマは『いま、地球市民として生きるために』—Striving for Global Citizenship for Allです。

大阪では、大阪YMCA・大阪YWCA・関西韓国YMCAが共に祈る合同祈禱会を持ちます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

大阪YMCA・大阪YWCA・関西韓国YMCA合同祈禱会

日時 11月12日(木)
18:30~20:15

場所 関西韓国YMCA
大阪市東成区中道3-14-15
(JR玉造駅下車 東へ5分)

プログラム 一部 礼拝・祈りの時
二部 交流会(軽食有り)

参加費 無料

問合せ 大阪YMCA国際・社会奉仕室
TEL 06(6441)0894
FAX 06(6445)0297
E-mail info@osakaymca.or.jp

北YMCA夏キャンプ思い出大会

9月27日、澄みわたる秋らしい青空の下、北YMCA夏キャンプ思い出大会が服部緑地ユースホステルで行われました。夏のキャンプに参加した子どもたちや保護者の方々が、スタッフやリーダーたちと久しぶりの再会を楽しみ夏キャンプ思い出大会に、430名を超える方々が参加されました。夏キャンプの写真販売、ストーンペインティングや和紙と葉っぱを使ったクラフトなどキャンプで行われたクラフト、カレーライスやフランクフルト、クレープなどの軽食を交え、和やかなひと時を過ごすことができました。昼からのリーダーたちによるキャンプソングの紹介では、キャンプに参加した子どもたちも加わり、その声は辺りに響き渡るほどの大合唱となる盛り上がりとなりました。

最後に、この夏の思い出を多くのリーダーや子どもたち・保護者の皆様と振り返ることができたことに感謝するとともに、次のキャンプで再会できますことを願っています。

(津田晃男・北YMCAスタッフ)



財団法人 日本宝くじ協会からテントの寄贈

財団法人日本宝くじ協会から、大阪YMCAに「集会用テント」を寄贈いただきました。

「キャラクター・デイイベントメント」のロゴが入ったテントは、11拠点(みなとYMCA、YMCA阿南国際海洋センター、ときほり保育園、あわび保育園、六甲山YMCA、呼子高原センター、北YMCA、YMCA桃の里、堺YMCA、南YMCA、統括本部)で、お祭りやスポーツ大会などの行事、またキャンプ場やプロگرام現場で活用させていただきます。

感謝を持ってご報告させていただきます。



第15回 チャリティーラン2009

日時 11月23日(月・祝)
9:00~14:00 雨天決行

会場 大阪城公園

今年で15回目を迎える大阪YMCAチャリティーランは、心身に障がいのある子どもたちを対象としたキャンプ・体育指導・作品展などを実施するための募金を目的としたチャリティーマラソン大会です。

大会はボランティアによって運営されています。大会にご協力いただける皆様のご参加を心よりお待ちしております。

●運営ボランティアによる支援会場設営、誘導、備品準備など
*事前説明会に参加していただきます。

●寄付(寄付金・備品類など)による支援
寄付金、抽選券購入(前売り/当日)、賞品、景品、飲み物、Tシャツ、タオル、試供品、その他

問合せ・申込み チャリティーラン事務局
TEL 06-6441-0894
E-mail chari-run@osakaymca.or.jp

国際リレーエッセイ②

皆さん、香港と言えば「夜景がきれい!」や「やっぱり香港スイーツでしょ」「ブランド品が安い」等をイメージされるでしょうか。今回はちよっと違う香港をご紹介します。

香港に来られたことのある方ならきっと気づかれたはずですが、街にはごみ箱があちこちにあり、しかも環境局の方が一日に何度もごみを回収し歩道を掃除しています。こちらに来て間もない頃、歩道がビチョビチョに濡れて蒸し暑さに拍車がかかり、「何でだ!」と思つて横を見ると、暑い中作業着を着た3人の方々が、散水車を使って歩道をきれいに洗っていました。なんと毎週、散水車が来ていることを後で知りました。道理で道がいつもきれいな訳です。

それから、エレベーターのボタン。その上をビニールシートで覆っていることにお気づきでしょうか。香港のエレベーターのボタンやドアノブは、大抵一時間毎に掃除されていて、シートをかぶせて拭きやすいようになっています。SARSが流行してから、行政

が街の清掃に重点的に取り組むようになったそうです。今では環境保護の意識が高く、地球温暖化防止についての広告をしばしば目にし、5月にオープンしたKowloon Parkでも、温暖化について4Dシアターで分かりやすく説明しています。またレジ袋の有料化も7月から始まり、香港の人たちはいつもちゃんと買い物をしています。

アジア有数の金融と物流の中心地香港で、街の掃除から環境保護や地球温暖化について学び、蜚語スィーツを楽しむ、そんな日々を過ごしています。

※Kowloon Park: 馬湾島にある「愛と社会の調和」をテーマにしたアミューズメントパーク。香港中華YMCAがパーク内のホテルを、政府から任されて運営しています。

◆筆者紹介◆
杉村 徹さん
大阪YMCAスタッフ。
今年度、香港中華YMCAにて研修中。